

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 9 月議会一般質問から



### 本村の学童保育の実態及び今後の充実に関連して

**質問** 本村の学童保育は、1年生から6年生までの希望者全員を受け入れ、待機児をつくらないことを基本とする対応は評価する。その上でさらなる充実を求める。

**答弁** 公設学童クラブでは増加する利用希望に出来るだけ応えるため、一部の施設において定員を超える受け入れを実施。入所調整を行い保育の必要性の高い児童から利用を決定している。

**規模**＝入所児童数によって施設ごとに“支援の単位”（概ね40人以下）を1つ又は3つで構成しており、施設設備・職員体制等から見ても適正な規模と考える。**定員超の改善**＝補助制度を活用した新たな民間学童クラブの整備など、新たな量の確保に努めながら入所児童数を定員に近づけていきたい。

**学校との連携**＝学童クラブごとに学校の先生方と定期的に打ち合わせを行い、行事予定や子どもの様子、学校や学童クラブでの新たな取り組み等について情報交換・情報共有を図るとともに、校庭や体育館等についても各学校との連携により活用している。

**質問** 法的根拠である児童福祉法の第1条では**児童の権利**についてうたわれている。本村学童保育でもこの権利を保障していく視点が重要。例えば定員超の白方、舟石川、中丸、石神学童保育所では、の保育スペースとしては3単位分必要になるが、どのようなスペースで確保されているのか。

また、今年度中丸小の新1年生はスタートカリキュラムを実施。来年度から全校実施と聞くが、学校との連携はどうあるべきか。

**答弁** 定員超の学童クラブのスペースは、各クラブとも2つの学習室で、「放課後児童クラブ運営指針」に規定される“子ども1人につき概ね1.65㎡以上”の面積を確保。おやつや宿題などの時間にはテーブルを設置するため一時的に狭くなるが、活動内容に合わせた備品等の配置により少しでも開放的な環境を確保できるよう努めている。

小学校では、子どもたちの育ちや学びの連続性を第一とし、幼稚園や保育所、こども園の風景をつなぎ、ゆったりとした時間を過ごし、学校生活をスタートすることは、子どもたちの誕生月や育ちの違いを踏まえた時、極めて重要な環境整備だと考え、中丸小学校からスタートカリキュラムを実施。今後、学童クラブの指導員の皆様に、小学校への入学時期の生活の様子の違い、いわゆるスタートカリキュラムの進め方や実際の姿を理解していただける機会を設けたい。

**質問** 支援の単位ごとの面積での保育が重要。「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」では、**指針以上のことを目標とするよう求めている**。

また省令基準が定めた「市町村長は、最低基準を超えて、その設備及び運営を向上させるように勧告することができる」、この権限発揮により、子育て支援は高校卒業同等の年齢までとすることを軸に、掲げた政策に責任を持つ立場で、**学童保育の現場とも協議しながら大規模人数を二部屋で保育していること**について改善策の検討が必要と考えるがどう認識するか。

**答弁** スペースには限りがあることから、**学校との連携により校庭や体育館等を活用することで、静と動の活動を分けて過ごすことができるよう工夫をしております、今後も継続してまいります**。

**意見** 子どもたちのストレスを溜めないこと、ケガなどが無いようにすることはもとより、**子どもたちの生活の場である事を絶えず意識していただく対応を求める**。